

令和3年度 文京区立小日向台町小学校 授業改善推進プラン  
第4学年

	指導上の課題	指導の在り方	授業改善の視点
国語	①話す活動において、相手に伝わるように話すことに課題がある。 ②自分の考えを明確にして文章を書くことに課題がある。	①相手に伝わるように話の中心が明確になるように構成を考えさせる必要がある。 ②自分の考えとその理由や事例との関係を明確にして書かせる指導が大切である。	①理由や事例などを挙げながら話の中心が明確になる組み立て方を、構成表に書かせ、話の流れを視覚的に考えさせる。 ①30秒スピーチを、常時活動にし、話す機会を設ける。 ②文章の構成をするとき、中心となる文章を最初に考えさせ、理由や事例を書き加えていく。接続語を用いて、文章同士の繋がりを考えさせる。
社会	①グラフや資料を読み取る力に課題がある。 ②学習したことを生活に関連付けて考える力に課題がある。	①グラフや資料を読み取る力を付ける指導が大切である。 ②社会的事象に関心をもち、学習したことを社会生活に生かそうとする社会的な見方・考え方を育てる指導が大切である。	①グラフや資料の見方・考え方を捉えられるよう、読み取らせる指導を充実させる。また、様々な資料の中から自分に必要な情報を収集、選択・判断・活用・発表する力を身に付けられる指導の工夫を行う。 ②具体的な資料や映像を提示し、生活と結びつけることができるようにする。分かったことを文章でまとめたり、資料を用いて説明したりする活動を取り入れ、よりよい社会について考える指導を充実させる。
算数	①分度器、三角定規、コンパスを用いて、角度や三角形、四角形をかく学習に課題がある。 ②文章問題の題意を理解し、問題解決することに課題がある。	①測定の手順、図形の性質や構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、かき方を確認し、正確にかけるようにする指導が大切である。 ②問題で何を問われているかを文章からしっかりと捉える力を身に付ける指導が大切である。	①図形の定義を理解できるようにし、性質や構成する要素及びそれらの位置関係を理解してかくことができるように指導する。 ①かく手順を示し、必要な道具を正確に使って、順序良くかくことができるように指導する。 ②図や数直線を提示し、分かっていることや求めることを捉えるために、手がかりになる言葉を押さえるようにする。 ①②東京ベーシックドリルを活用し、習熟を図る。
理科	①自然の事物・現象から見出した問題について、根拠のある予想や仮説を発想することに課題がある。 ②観察・実験などに関する基本的な技能に課題がある。	①既習の内容や生活経験をもとに、予想や仮説を発想させることが大切である。 ②観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けられるようにする必要がある。	①共通体験をさせる。既習の内容や生活経験を想起させることで、根拠のある予想や仮説を発想することができるようにする。 ②視聴覚機器等を活用し、観察・実験の方法を丁寧に指導する。
音楽	①拍に合わせてリズムを手拍子で演奏することはほぼ全員ができるが、器楽演奏では、周りの音を聴きながら拍に合わせて演奏することに個人差がある。 ②鑑賞活動で感じ取ったことを表現できる児童が増えているが、音楽を形づくっている要素と関連付けて曲の特徴やよさを表現することに課題がある。	①段階的に学習を積み重ねることで、基礎的な技能を身に付けることが重要である。 ②学習する音楽を形づくっている要素に焦点化し、知覚・感受する場面を十分に設ける必要がある。	①音楽の流れを確認しながら読譜する活動や、運指の確認を十分に行い、個人の基礎的な技能の向上を図る。児童同士で学び合う場面を設定し、音を合わせて演奏する経験を積み重ねる。 ②体を動かしたり、比較して聴いたりしながら知覚・感受をする活動を充実させる。知覚・感受したことや、曲の特徴やよさを友達と共有することで考えを広げ、表現に生かせるように指導する。
図工	①何事にも興味をもって、楽しいのびのびと自分の思いを作品に表すことができる児童が多い。一方、発想に行き詰まったり、思い通りに表せなかったりする児童への手立てや支援が課題である。	①様々な材料に触れ、手を働かせて使ったり、表し方を考えたりして表現できるような活動の場面の工夫や、学年に応じた材料や用具を適切に扱うよう題材を設定することが大切である。	①身近な材料や扱いやすい用具を使う活動から、表し方を考えて表現する活動場面を計画的に取り入れる。また、扱う材料や道具に応じた技術を身に付けられるよう、全体に向けてポイントを絞った指導をする。また、個別に教師の言葉かけを行い、全員がスムーズに作業を進められるようにする。

<p>体 育</p>	<p>①回転したり上体を支持したりすることに大きな差があることが課題である。 ②体を巧みに操作することに課題が見られる。</p>	<p>①マット、鉄棒、跳び箱運動の学習を通し、運動する楽しさを味わいながら、基本的な技能を身に付ける必要がある。 ②様々な領域で跳ぶ運動、投げる運動などを取り入れていく指導が必要である。</p>	<p>①学習カードや掲示資料を工夫し、技能のポイントを示す。また、自己の課題の見付け方や解決の仕方を明確に示していく。 ②遠くへ跳ぶ、高く跳ぶ、連続して跳ぶ、投げるなどの運動を意図的に取り入れる。 ②コーディネーショントレーニングを取り入れ、巧みな動きが身に付くように工夫する。</p>
<p>総合的な学習の時間</p>	<p>①調べる力や、資料を収集する力に差があることが課題である。 ②学習課題を決めて、調べたことを自分の言葉でまとめることに課題が見られる。</p>	<p>①情報収集の仕方を身に付けさせ、課題解決に合った方法で調べることができるように指導していくことが必要である。 ②調べたことを自分の考えや生活と結び付けて考え、まとめられるよう、考えを整理・分析したり、まとめたことを表現したりする活動を取り入れることが必要である。</p>	<p>①資料の選びかた、活用の仕方を例示したり、一緒に考えさせたりし、自分に合った収集・整理の仕方を身に付けさせる。 ①情報収集をするためにパソコン等の基本操作を習得できるようにする。 ②課題に対する考えを深めさせるために、まとめ・表現をする活動を積極的に取り入れる。各教科や総合的な時間で学んだことが生かされるよう、年間指導計画と関連付け、言語による理解が定着するよう、繰り返し指導を行う。</p>
<p>外国語活動</p>	<p>①英語を使って主体的にコミュニケーションをとろうとする姿勢に課題がある。</p>	<p>①相手へ配慮し、距離を確保しながら、主体的にコミュニケーションを図ることができるようにすることが大切である。 ①本時で扱う会話表現が、日常のどの場面で使うのかが分かるように、授業の工夫をすることが大切である。</p>	<p>①ネイティブスピーカーの音声を聞かせ、復唱したり対話したりする機会を多く設ける。 ①英語を使った言語活動を通して、友達やALTとともに体験的に楽しみながらコミュニケーションが図れるようにする。学習のめあてを明確にした上で段階的に活動を進める。学習の振り返りを行い、日常や次時への意欲に活かす。 ①距離を保ち、声量に配慮しながら相手意識や目的意識をもたせ、日常の会話表現に近い状況を設定して活動を行う。</p>
<p>道徳</p>	<p>①自分の考えをもったり、自分ならどうするかを考えたりしながら、深めていくことに課題がある。</p>	<p>①自分ならどうするか、主体的に考える授業展開をすることが必要である。</p>	<p>①ワークシートに自分の考えを書く時間を多くとり、じっくり考えられるようにする。 ①個々の多様な考えや感じ方に接する機会を多く作るため、個々の考えを板書して可視化する。</p>